

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業に係る実施状況及び効果検証

No.	事業名称	事業概要	経費内訳		事業評価	
			事業費	(うち交付金)	実施状況	効果・検証
1	おうちでできる頭と体の元気体操運動事業	外出機会の減少による身体・認知機能の低下を防ぐため、高齢者に自宅できる運動・脳トレをフレイル対策として文面で指導する。	122,286	121,000	以下の冊子の購入 ・リーフレット 254冊	リーフレットの配布により自宅での運動・脳トレをする機会ができた。フレイル対策に繋がった。
2	必要物品供給事業	社会福祉施設等の衛生環境対策や感染症対策のため、各資材を購入するもの。	397,901	397,000	以下の消耗品の購入 ・サージカルマスク 3,300枚 ・消毒用エタノール 12個 ・ゲル状速乾性消毒剤 26個 ・ラテックスグローブ 72個 ・非接触体温計 1個 ・ハンドソープ 5個	感染症防止対策を実施することで、施設職員、利用者が安全安心に施設を利用することができた。
3	地域経済活力創生事業	新型コロナウイルス感染症対策として住民への支援を行うことで、影響を受けた事業所の売上促進に繋がり地域経済の振興を図るもの。	12,520,102	12,518,000	・地域振興券交付 11,171枚	地域振興券の交付により、コロナで停滞する経済活動を支援し、消費の拡大及び事業者支援に繋がった。
4	休業要請協力事業	新型コロナウイルス感染症防止として事業者が休業協力することで拡大防止に資する。	4,300,000	4,300,000	・協力金(1社)	休業要請に協力してもらうことで感染症拡大防止に効果がみられた。また、事業者支援にも繋がった。
5	感染症防止対策協力事業	新型コロナウイルス感染症防止として、適切な感染症防止対策を行う事により拡大防止に資する。	2,000,000	2,000,000	・協力金(20事業所)	感染症防止対策に取り組む事業者へ支援することにより、感染症の防止に繋がった。
6	遠隔・オンライン学習の環境整備事業	遠隔・オンライン学習を実施するため各機器等を整備するもの。	2,497,675	2,496,000	以下の備品の購入 ・ノートPC 7台 ・無線LANルーター 10台 ・液晶テレビ 4台 ・テレビスタンド 2台 ・ヘッドセット 65個	新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が閉鎖される中、オンラインにより生徒の授業や健康管理等の把握に効果があった。
7	防災活動支援事業	避難所等の衛生環境を保つため、各資材を備蓄するもの。	2,969,890	2,969,000	・マスク 250箱 ・防護服 80着 ・次亜塩素酸水 200本と35本 ・ラテックス手袋 20箱 ・フェイスシールド 30箱 ・非接触スキャン体温計 25個 ・充電式噴霧器 5台 ・電動噴霧器 1台 ・避難ルーム 50個 ・避難別途 50台 ・スプレーボトル容器ポンプ式 30個	新型コロナウイルス感染症の拡大により、避難所での感染症対策が求められる中、感染症対策資材を整備したことにより、避難所での生活及び衛生環境の改善に繋がった。
8	追加特例給付金給付事業	特別定額給付金及び子育て世帯への臨時特別給付金の各基準日以降令和2年度末までに生まれた者に対し、両給付金と同等の支援を行い、もって新型コロナウイルス感染症の影響を受けた家計を支援する。	890,000	890,000	・給付金(10名)	特別定額給付金の基準日以降の出生者に対し支援することで、支援の公平性が保たれるとともに家計への支援に繋がった。
9	水産物流改善支援事業	需要減退等の影響を受けている水産物の出荷・販売調整等の流通改善を図り雇用の維持と事業の継続を支援。	1,000,000	1,000,000	・給付金(1施設)	外食自粛が余儀なくされる中、流通体制整備により、水産物の安定供給が図られ、安定的な漁業生産に寄与した。
10	地域水産業持続化支援事業	需要減退等の影響を受けている漁業者の事業持続を支援。	2,800,000	2,800,000	・給付金(28件)	需要減退等の影響を受けている漁業者への支援により、漁業経営の持続化に繋がった。
11	観光需要回復事業	落ち込んだ観光需要の回復を図るため宿泊料を助成し観光拠点の振興を図る。	3,896,000	3,700,000	・助成金(1,200人)	宿泊料の助成により、観光需要の回復及び観光拠点の振興が図られた。
12	温泉・そんみん割事業	新型コロナウイルス感染症の蔓延により影響を受けた温泉施設の誘客促進を図るため、村民に対して割引券を交付し利用料を助成する。	1,090,242	1,084,000	・割引券(3,100枚)	割引券の交付により、温泉施設の誘客促進が図られ、コロナ禍で落ち込んだ利用客の回復に繋がった。
13	経営持続化支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の事業継続を支援。	1,800,000	1,800,000	・給付金(6事業者)	需要減退等の影響を受けている事業者への支援により、経営の持続化に繋がった。
14	指定管理者事業再開支援事業	村民の健康増進や観光・産業振興及び地域間交流促進等の公共的役割を担う村施設の指定管理者に対し、事業再開のための感染症対策を含めた円滑な管理運営を支援。	21,990,000	21,990,000	・支援金(3事業者)	需要減退等の影響を受けている指定管理者への支援により、感染症拡大の防止、経営の持続化に繋がった。

15	宿泊事業者感染 予防対策事業	北海道が実施する「宿泊事業者感染予防対策推進事業」により衛生管理対策機器を導入し、感染症に対する強靱な体制を構築する。	1,702,360	542,000	・感染症対策備品の購入 (32台)	機器の整備より、利用者の安全安心な施設利用が図られ、感染症拡大の予防に繋がった。
16	GIGAスクール ネットワーク整備 事業（初小）	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備	11,585,000	4,784,000	・サーバー等整備 (小学校1校)	GIGAスクール構想のもと、ネットワーク、端末等の環境整備することで、環境教育の基盤整備が図れた。また、コロナ禍におけるオンライン授業等の教育の活動にも繋がった。
17	GIGAスクール ネットワーク整備 事業（初中）	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備	6,305,000	2,104,000	・サーバー等整備 (中学校1校)	GIGAスクール構想のもと、ネットワーク、端末等の環境整備することで、環境教育の基盤整備が図れた。また、コロナ禍におけるオンライン授業等の教育の活動にも繋がった。
18	公立学校情報機器 整備(学校からの 遠隔学習機能の 強化)(地方単独分)	公立学校情報機器整備 (学校からの遠隔学習 機能の強化)	1,609,550	1,608,000	以下の備品の購入 ・マイク 18台 ・カメラ 16台	GIGAスクール構想のもと、ネットワーク、端末等の環境整備することで、環境教育の基盤整備が図れた。また、コロナ禍におけるオンライン授業等の教育の活動にも繋がった。
19	高度無線環境整備推 進事業（補助対象外 分）	新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、「新たな日常」（テレワークやオンライン授業）に必要な情報通信基盤（光ファイバ）の整備を図る。	48,258,000	25,492,000	・光ファイバ整備一式	光ファイバの整備より、コロナ禍でのオンライン授業やテレワークの普及及び情報把握の迅速化に繋がった。
20	高度無線環境整備推 進事業（任意負担 分）	新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、「新たな日常」（テレワークやオンライン授業）に必要な情報通信基盤（光ファイバ）の整備を図る。	64,701,000	6,887,000	・光ファイバ整備一式	光ファイバの整備より、コロナ禍でのオンライン授業やテレワークの普及及び情報把握の迅速化に繋がった。
21	公立学校情報機器 整備(端末購入)	一人一台端末の実現（遠隔学習環境のための端末整備）	1,612,600	1,542,000	以下の備品の購入 ・iPad、専用キーボード、 MDM 70セット	GIGAスクール構想のもと、ネットワーク、端末等の環境整備することで、環境教育の基盤整備が図れた。また、コロナ禍におけるオンライン授業等の教育の活動にも繋がった。
22	地域公共交通経営 持続化支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の事業継続を支援。	1,500,000	1,500,000	・給付金（1社）	減便対応などを行っている生活交通バス事業者に対する支援金の支給により、公共交通体制の維持及び地域住民の移動手段確保が図られた。
23	公立学校情報機器 整備費補助金	公立学校情報機器整備 (学校からの遠隔学習 機能の強化)	1,672,550	28,000	以下の備品の購入 ・マイク 18台 ・カメラ 16台	GIGAスクール構想のもと、ネットワーク、端末等の環境整備することで、環境教育の基盤整備が図れた。また、コロナ禍におけるオンライン授業等の教育の活動にも繋がった。
24	学校保健特別対策 事業費補助金	学校内の室内空間を浄化する空気清浄化機器の整備	4,042,500	2,000,000	以下の備品の購入 ・エアバスター 1台 ・ビッグファン 1台	物品の整備より、安全安心な学習環境の確保及び教育活動の継続に繋がった。
25	学校保健特別対策 事業費補助金	感染防止対策に使用するマスク等の消耗品の整備	25,590	9,000	以下の消耗品の購入 ・アルコール製剤 1個 ・クリアシールド 90 個 ・ビニール手袋 500枚	物品の整備より、安全安心な学習環境の確保及び教育活動の継続に繋がった。
26	無線システム普及 支援事業費等補助 金	新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、「新たな日常」（テレワークやオンライン授業）に必要な情報通信基盤（光ファイバ）の整備を図る。	210,010,000	43,134,000	・光ファイバ整備一式	光ファイバの整備より、コロナ禍でのオンライン授業やテレワークの普及及び情報把握の迅速化に繋がった。
27	水産物販売促進 支援事業	本村漁業の主であるタコの需要減（外食系産業景気低迷）を回復させるため、個人消費の需要増加のための「オンラインシステム導入」に対して支援。	1,500,000	1,500,000	・支援金(1社)	システム導入により、個人消費の水産物の需要増加が図られ、販売促進に効果があった。
28	PCR検査促進事業	村内の医療従事者及び高齢者等施設の職員が定期的にPCR検査を受けられる環境を整備し、感染リスクの低減、クラスターの未然防止を図る。	4,136,000	3,100,000	・検査料（369回分） ・補助金（3事業者）	医療従事者及び高齢者等施設職員が定期的に検査を実施することにより、感染リスクの低減及びクラスターの防止が図られ効果があった。